

ウチヤマタイムズ

1
2019
No.203

UCHIYAMA HOLDINGS
ウチヤマホールディングスグループ

東証一部上場
(証券コード:6059)

(株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話:093-551-0002
発行日:平成30年12月20日 編集:岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里 監修:内山文治・吉岡信之



新年 あけましておめでとうございます



さわやか倶楽部 第四回事例発表大会

最優秀賞



さわやか大積館 & さわやか愛の家せとうち館

十一月十六日、さわやか倶楽部で第四回目となる「事例発表大会」が本社で開催されました。お客様の生きがいづくりをベースにした機能回復や症状の改善等についての事例を共有してその成果を競うもので、全国の事業所を二〇のブロックに分け、各予選で勝ち抜いた代表者によるプレゼンが行われました。

前年の第三回に引き続き今回も社外から審査員の方々をお招きし、資料の見やすさや声の大きさなど項目ごとに点数を付けていただきました。その結果、今年はいさわやか大積館と「さわやか愛の家せとうち館」が見事最優秀賞に輝きました。

さわやか大積館は小規模多機能型住宅介護という施設で、審査員の方にとっても馴染みがない業態ということもあり、プレゼン終了後には業務に関する質問も多く出ていました。さわやか愛の家せとうち館は、放課後等デイサービスの代表として、子供たちの成長に寄り添ったユニークな取り組みが評価されました。

さわやか大積館 大崎友絵さん

小規模多機能事業所を少しでも理解してもらうために、試行錯誤しながら資料に何度も手を加えて発表させていただきました。思いばかりが先行して、伝わりにくかったとは思いましたが、時間内に自分の小規模多機能事業所に対する想いは出尽くしました。他施設の皆様もとても素晴らしい内容で、大変勉強にもなりました。結果発表の時に「さわやか大積館」と呼ばれた時はとても驚きましたが、本当に嬉しくて、自分がやってきたことが認められたようで、とても感動しました。この素晴らしい賞を頂いた体験を活かし、小規模だからこそできる、利用者様一人一人に向き合い、地域に根差し、最後まで自分らしく過ごすことができる環境を作っていきたいと思っています。

さわやか愛の家せとうち館 多久和真行センター長

皆様の支援を賜りながら、最優秀賞を受賞させていただきました。日頃の子ども達への支援の内容を振り返ることは、私達支援者としても学ばせて頂く機会となりました。常に基本理念の実践を念頭においてサービス提供してくれているスタッフ(児童発達支援管理責任者、石丸職員、児童指導員、野村職員、指導員、金谷職員、相談員、河本職員)の子ども達に対しての熱い想いが、今回の最高の結果に繋がったと実感しております。今後も、保護者様や地域社会からさらに高まる期待に応えられるよう、チーム愛の家せとうち館一丸となつて、日々充実した支援を提供させていただきます。



施設名	テーマ	発表者
最優秀賞 さわやか大積館	「私を好きにさせて」	大崎看護師
グループホームかがやき	「認知症状と向き合い、その時の状態への対応」	碓井ホーム長・濱本センター長
さわやかリバーサイド西脇	心に寄り添うケア「信頼関係が築けるまで」	鷹尾介護支援専門員・室崎介護支援専門員
さわやかなんよう館	糸み子様の夢コレクション～ライフマップで生きがい発見～	加藤施設長・徳田介護職員
さわやかひだか館	笑顔を取り戻すための支援「再発・笑顔to笑顔」	弓削田施設長・小出介護職員
優秀賞 さわやか桜参番館	「夫婦のきずな」二人で過ごす時間が長く続きますように	三浦施設長・三浦介護職員
さわやか宗像館	「SCD(脊髄小脳変性症)の利用者様の機能訓練」	野村機能訓練指導員
さわやか直方館	「在宅復帰に向けて」	大和介護支援専門員・菅原機能訓練指導員
最優秀賞 さわやか愛の家せとうち館	「夏にパワーアップ!がんばりカードで成長しよう!」	石丸児発管・野村指導員
さわやか昇陽館	楽しみのある施設生活	立協管理者

内山さわやか会 望年会

12月6日、内山さわやか会の年末恒例行事「望年会」が北九州市のアサノパティオで盛大に開催されました。内山さわやか会の会員企業をはじめとする取引先の方々に加え、来賓には北九州市の北橋健治市長も来場し、300名を超えるお客様でたいへん盛り上がりました。恒例となったくじびき大会では、豪華商品が紹介されるたびに大きな歓声があがり、当選番号の発表に合わせて一喜一憂する姿が見られました。本社や介護施設の職員もおもてなし対応を行い、日頃からのご支援に感謝を伝える機会となりました。



さわやか倶楽部 介護職員初任者研修

受講生募集中

研修場所 福岡県北九州市小倉北区熊本2丁目10番10号

研修費用 **38,000円**(受講料・テキスト代・消費税込み)
※さわやか倶楽部の職員は10,000円の補助があります

開催日程 **2019年2月5日～2019年3月29日**
※毎週火曜・金曜

申込期間 **2019年1月31日まで**

定員 **24名**(定員となり次第受付終了)

対象者 **年齢不問**(18歳未満の方は保護者の同意必要)
現在介護業務に従事している方および今後介護業務に従事しようとする方

お問い合わせはお気軽にお電話ください

☎093-551-5555 [担当] なかやま



キラリ★一等星

輝くスタッフをご紹介します!



生活相談員

おたぐる **太田黒 典子**さん[45歳]

●さわやかあびこ館
(千葉県我孫子市)

短期大学の社会福祉学科を卒業してから、介護から離れた生活を送っていました。

30歳を過ぎた頃、友人の誘いもありデイケア・訪問介護・病院介護等を経験しました。その会社では初の介護事業ということもあり、自分たちで作りあげていく楽しさと難しさの両方がありましたが、立場上の責任が大きくなるにつれて自らの未熟さを実感し、初心に戻って学びを得たいという気持ちが強くなりました。そんな時、幅広く学べる環境と研修体制の整うさわやか倶楽部を知りました。全国にある施設の方々と情報を共有し、お客様第一主義の基本理念の中で一緒に働きたいと思い、入社させていただきました。

日々のミーティングや職員会議では、たくさんの意見があがります。その話し合いから実践に生かす、入居者様の笑顔につながった時に、やりがいとうれしさを感じます。全国にたくさんあるさわやか倶楽部の施設のカラーを知り、地域の特性や職員の考え、情報を共有し学びを増やしていきたいです。

ケアカフェという医療者・福祉者・福祉に興味

のある市民の集まりがあり、そこに参加してボランティア活動なども行っています。他者とのコミュニケーションを通じて、様々な方の考えや自分の知らなかったことを知る機会を大事にしています。

プライベートではゴールデンボンバーのライブに行くことも大好きですし、ぐでたまのキャラクターも大好きです。去年は「ギターが弾きたい」という思いにかられ、音楽教室に足を運んでみると若い学生ばかりということで通うのを断念し、独学で練習しました。しかし、やはり弾けるようにはならず、弦の少ないウクレレで楽しむことにしました。今年こそはギターで曲が弾けるようもう一度チャレンジしてみようと思います。

さわやかあびこ館は2018年11月1日にオープンし、私は1階の入居調整をさせていただきました。初めての入居対応のやりとりには難しさも感じましたが、12月1日に満床の50床の確定が取れた時の面談後は、施設長や職員の仲間など皆様に「ありがとうございます」という感謝の気持ちとうれしさを感じました。これからも満床継続に向けて努力していきます。



BEST

日

報

賞

ウチヤマグループで働く皆さんの日報をご紹介します！



弓削田 恵子 施設長

●さわやかひだか館
(埼玉県日高市)

最近、日報を書くことが私の心の中を吐き出せるツールの1つになってきております。一時は「日報を書く時間がないから書かない」と自分に言い訳をしていた時期もありました。しかし、日報を書くことで、職員に言えないことや、1人で抱え込んでいたことを、幹部の方々に伝えることができる最高のツールを与えて頂けているのだと思い、今では日報の存在に感謝しております。

私は社歌の詩も大好きです。本日も全体朝礼で社歌を歌い、胸が熱くなりました。管理者は楽しいことばかりではありません。顔は笑っていても心は泣いていることもあります。ですが、社歌の詩を読むと「1人ではないんだ、どんなときでも側にいてくれる人がいる」と勇気を頂くことができます。挫けそうになると、必ず社歌の詩を読みます。

そして、私は“理念と哲学”の青い手帳を毎日肌身離さず持っています。自宅に帰ってからも読むことが多々あります。“理念と哲学”の手帳は、人としてどう生きなくてはならないか、を説いてくれています。自己成長にも繋がります。毎日朝礼で読んでいる手帳ですが、まだまだ部下に対して手帳の良さを伝えきれていない部分があるように感じます。ただ読むだけではなく、ひとつひとつの言葉が何を意味しているのかを全職員が理解して、共に楽しく仕事ができるよう根気強く伝えていきます。人を変えるには、まずは自分が変わらなくてはなりません。私自身も本を読むことで、勉強をしていかななくてはならないと改めて実感した一日でした。



産んでくれて、育ててくれて、ありがとう。

私は、和歌山県和歌山市で生まれました。24年間、大きな病気をすることもなく健康でいられるのは、お父さん、お母さんのおかげだと思っています。

お母さんは、私が学生の頃、駅までの送り迎えをしてくれました。夜遅くに帰って来る時などもあり、心配や迷惑を散々かけてしまいました。それでも、いつも味方でいてくれる存在に頼ってばかりでした。福岡へ行くこと決めた時も、一度は反対されましたが、「あんたが決めたことなら…」と最後は背中を押してくれました。「何かあったらいつでも帰っておいで。いつ帰ってきてもいいようにしとくから」と言って見送ってくれたお母さんの言葉を思い出し、旅立つ飛行機の中で涙したのを今でも覚えています。

お父さんは、私が就職を福岡ですと決めたときに大喧嘩をしました。口も聞かなくなり、仲直り出来ずにそのまま福岡へ来たことが、心につかえていました。しかしながら、お母さんから「ちゃんとご飯食べているか、次はいつ帰ってくるのかを何回も聞いてきて、心配していますよ」というメッセージをもらい、改めてお父さんから深い愛情を受けていたのだと知りました。

2017年の4月にさわやか倶楽部に入社し、初めての土地、初めての仕事、周りに知る人も居ない中で不安ばかりがありました。しかし、素晴らしい上司や先輩方にご指導いただき、頑張ることができています。実家から遠く離れた福岡県での生活も約1年半経ち、ようやく慣れてきました。親孝行らしいことは何一つできていないかもしれませんが、仕事を通じて成長している姿を見せられれば、と思います。これからも、いろいろと迷惑をかけると思いますが、温かく見守って下さい。

お父さんとお母さんの娘に産んでくれて、本当にありがとうございます。



生活相談員

池宮 礼さん

●さわやか春日館
(福岡県春日市)

●さわやか立花館

熊本地震から一年五か月、さわやか立花館の皆様には、たいへんお世話になりました。ただただ感謝しております。高齢で耳や身体が不自由で認知症も有る父を、いつも親身に介護していただきました。肺炎で入院生活を送っておりまして、今年の夏九十四歳で亡くなりました。おだやかな最後でした。地震で途方に暮れていた時に受け入れて下さった皆様のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。
(福岡県福岡市中村様より)

●さわやかさかのいち館

職員の皆様は労苦をいとわずいつも一生懸命下さって嬉しく思っております。時々催しもなさってくれて、喜んでおります。私は毎日と言ってよいほど夫のところにいらしています。その都度気づいたことはお話ししておりますので、不満はございません。大変さがよくわかります。いつもありがとうございます。
(大分県大分市岡本様より)

●コロケ倶楽部直方店

うめづさんの親切で丁寧な接客態度に気持ちほころびました。ありがとうございます。いつもコロケ倶楽部で練習させて頂いていますが、素敵な対応で本当に感動しました。笑顔も自然で、ひざまずいて同じ目線でお話されました。

(福岡県宮若市有吉様より)



おたよりのご紹介

オーケストラ生演奏

デイサーピスにオーケストラのボランティアが来てくださいました。戸畑区で活動されている「アルタアンサンブル」の皆様です。演奏者の中で最高齢はなんと、84歳だそうです。年齢を感じさせない力強い演奏でした。

曲目は皆様がよく知っていらっしゃる「津軽海峡冬景色」からラテン系の曲、クリスマスソングまで10曲ほど幅広く演奏していただきました。「上を向いて歩こう」では、ご利用者様も歌を口ずさんで楽しまれていました。



最後は演奏者の方と握手をしてお別れしました。「すごく良かったよ〜」「今日は楽しかった」「感動したよ〜」と大好評でした。なかなか生でオーケストラの演奏を聴く機会はないので、とても喜ばれていました。アルタアンサンブルの皆様、ありがとうございました。(木塚 千愛里)



園児とふれあい会

社会福祉法人八健会の「だきしめこども園」のみなさんが、あおい館に来てくださいました。サンタの帽子をかぶって登場してくれました。小さなお子様はパワーがいっぱいです!とてもかわいらしいふれあい会でした。

お礼のサンタやっこさんの折り紙です。昨日、手作りをしました!園児様からは、絵のプレゼントをいただきました。また、お待ちしております。(山梨 恵)



さわやか だより

日々更新される施設のブログから
一部をご紹介します。

第3回さわやか展示会

芸術の秋です。さわやかかめま館にはご利用者様の中に多くのアーティスト(自称)がいます。その方たちの発表の場として「第3回さわやか展示会」を開催しました。

約2か月間募集して100点以上の作品が集まりました。そして、地域交流フロアで3日間展示し、ご家族様や入居者様など多くの人に鑑賞してもらいました。

作品は絵画、書道、編み物、工作、短歌、俳句など多岐にわたります。どれも力作ぞろいで、来館者の中には「さすがに年季が入っていて素晴らしいものばかりです」と感動される方もおられました。出品者の一人は「人に見てもらおうことで励みになります」と話し、自分の作品の前で記念写真を撮られていました。



最終日に地元の下野新聞社が取材に来てくれました!その記事が29日に掲載されました。入居者様の力作を集めた展示会なので新聞に載るということで、皆様期待に胸膨らませていました。朝刊が届くといち早く気付いた人もいて、みんなに見せている場面も。取材を受けたご利用者様は「折り紙が好きなのでみんなに見てもらえてうれしい」と話していました。

(木主 和治)



ボランティアさん来館



「よさこい皆でおどろう会」の方がご来館されました。懐かしの曲でうたったり、踊ったりして盛り上がりました。いろいろな曲を使って、体操など身体を動かすこともしました。ボランティアの方も一緒にお客様と歌ったり、踊ったりして、とても盛り上がりました。最後まで、皆様と笑顔の絶えない楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、よさこいの花笠踊りで職員も一緒に楽しく参加させていただきました。皆様ありがとうございました。(小池 祐子)



防災訓練

防災訓練を実施しました!その様子をお伝えします。まず、館内での避難訓練の様子です。火災ベルが鳴り、職員の誘導のもと避難を開始します!皆様、急げ急げ~!と声を掛け合いながら行ってくださいました。続いて、屋外での消火器訓練です!消火器の使用方法について詳しく教えていただきました。「使ってみると案外簡単だね」と仰っていました。皆様真剣に話を聞いていらっしゃいます。最後は記念写真を撮って終了です。皆様、ご協力ありがとうございました。(大塚 涼子)



梅吉亭

12月12日は梅吉亭入店日でした。今回のランチは、こちら。ポテトサラダと大根の煮物の担当を決め、スタートします。準備ができると、いなり寿司を作ります。どのようにしたら形がキレイにできるか、職員に教えてくださいました。

11時の開店に間に合うよう、30食分の準備をします。今回は事前に7名様のご予約をいただきました。お客様から注文をいただいてから肉うどんを作ります。うどん担当の石井様は作業が早く、注文から提供までが早い為、お客様はビックリされていました。

今回も無事にシェフを務めることができました。完売です。地域の皆様に支えられ、梅吉亭入店が継続できていること、感謝致します。ありがとうございます。今後もより多くの入居者様の得意なことを活かし、参加していただけるように運営していきたいと思っております。応援、よろしくお願い致します。(藤井 順子)



お芋掘り

急に寒くなってきましたね。今日は、さわやか宗像館では、お芋掘りをしました。さあ、はりきってお芋を掘りましょう。まず最初にとれたのがこれ!さあ~どンドン採りますよ~。入居様が蔓からお芋をとっていきます。手際いいですね。じゃーん!そしてこれが今回の収穫!



お芋掘りが終わったところで、甘酒でホッと一息です。今日は毎年恒例のさわやか宗像館でのお芋掘りの様子をお伝えしました。このイベントが終われば、いよいよ今年もあと少しですね。みなさん、風邪などをひかれませんように。(野村 哲也)

挑戦と進化

もう間もなく二〇一八年が終わろうとしています。皆さんにおいては、どのような年だったでしょうか？各個人で一年の最初に決めた目標がどの程度達成できたか、年末から年始にかけてしっかりと振り返る機会を持ちましょう。良かった点についてはさらにそれを伸ばしていくために次の目標を定め、できなかった点についてはその原因を自己分析した上で、一年後に同じ反省を繰り返すことがないように、目標設定と実現までのプロセスの見直しを行います。各部署、施設や店舗といった事業所単位においては、四月から始まる年度予算に基づいた目標が設定されています。年度末まで残り三ヶ月のこの時期に、改めて実績の棚卸を行い、残りの期間でどのように目標へ近づけていくのか、職員間の意識統一を図るようにしましょう。

ウチヤマグループ全体としての二〇一八年を振り返ってみると、改めて大きな挑戦と進化が凝縮されたような年であったと感じます。

主幹事業である介護施設の運営においては、二〇一七年十月から二〇一八年九月までの一年間で介護付有料老人ホームを十施設開設しました。月刊シニアビジネスマーケットの二〇一八年十一月号に掲載された情報によると、これは全国の企業で最も多い開設数だったそうです。中でも二〇一八年二月には、四か所の介護付有料老人ホームと一か所の放課後等デイサービスの計五か所を同時に開所しました。これはウチヤマグループにとって初めてのことです。既存施設の運営を行いながら、同時並行で新規施設の立ち上げを行うことは、特に担当地域のエリアマネジャーにとってはプレッシャーもあつたと思いますが、近隣の施設長をはじめ、全国の仲間が協力し合つて開所準備にあたり、すべての施設を計画通りに開所することができました。この一年間に開所した施設が次々と軌道に乗ってきていますので、来年度には既存施設として、当社の業績に貢献してくれるようになることを期待しています。

介護事業を立ち上げて間もないころは、施設の開所や運営に関するノウハウも確立しておらず、私自身も各担当者へ細かく指示をしていたこともありましたが、最近では私がいま指示をしなくても、それぞれの担当者が自ら考えて動き、経験のある幹部がサポートしてくれているので、安心して

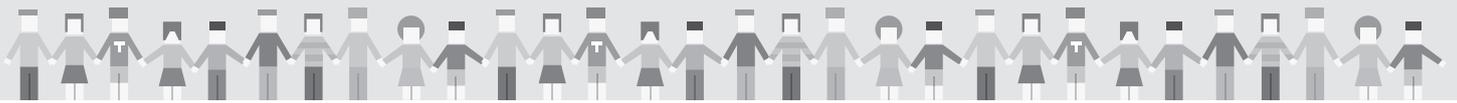
任せられるようになりました。おかげさまで二〇一八年十一月には、さわやか倶楽部で「一〇〇か所目の施設となる「さわやかあびこ館」も開所しました。今後も引き続き、各地域での需要や行政機関の求めに応じて、施設の展開を続けていきます。

さわやか倶楽部が各大学等と取り組んでいる産学官連携事業については、積み重ねてきた研究の成果が実績となり、目に見える形で確認できるようになった年でした。

九州歯科大学と取り組んできた、介護現場における口腔ケアのレベルアップについては、社内認定資格として設けた「さわやか口腔ケア認定士」の合格者が社内で七六一名となり、上位資格となる「主任口腔ケア認定士」も八名が合格しました。これらの取り組みの結果、施設で誤嚥性肺炎になる方が昨年に比べて著しく減少したという統計結果も出ています。この共同研究の成果は、十一月五日に九州歯科大学で開催された市民公開講座の中でも発表させていただきました。口腔ケアの充実による入院の減少が入居者様の健康や金銭的負担の改善に繋がり、公費である医療費の削減にも大きく寄与していることを理解して頂けたのではないかと思います。

九州工業大学との共同研究では、IoT技術やセンサーによる業務効率化を目指しており、二〇一七年度に当社の介護施設で実証実験を行った結果、記録業務が仕事全体に対して大きなウエイトを占めていることがわかりました。二〇一八年度は、記録業務の効率化に向けて介護記録アプリの開発を行い、アプリとセンサーを用いた実証実験を実施しました。その結果、記録業務にかかる時間が手書きの場合と比べ四割ほど短縮できることがわかりました。また、記録される情報量も平均一・五倍増加し、内容の充実も期待されます。IoT技術を取り入れることで、大幅な業務改善や効率化を図り、入居者様に対するケアの充実や更なるサービスの質の向上に取り組んでいけるようになると思っています。





九州大学と共同で開発に取り組んできた、高齢者の方の生きがいつくりを支援するアセスメントツール「ライフマップ」は、当社の介護施設で実際に活用しながら効果検証を行ってきました。家族や趣味をイラスト化したマグネットを用いて、入居者様と一緒にこれまでの人生を振り返りながら、今後の夢や目標を持っていただくことが入居者様の生きがいとなり、その成功事例については本誌でもいくつか紹介してきました。二〇一八年十一月に行われた「全国事例発表大会」でも、ライフマップを活用した事例が発表され、当社の理念を体現するための画期的なツールとして社内で着実に根付いてきていることを実感しています。二〇一八年七月には、現場での意見を取り入れて改良を重ねたライフマップの製品版が完成し、外部への販売もスタートしました。

今後も介護に関わる全ての方が幸せになるよう、大学や行政等との連携を図りながら、介護業界の第一線で挑戦し続けたいと思っています。

新規事業としては、インドネシアにさわやか倶楽部の子会社となる合弁会社（PT.Sawayaka Fujindo Indonesia）を設立して、日本で働く若者の為の職業訓練校を開校しました。二〇一七年一月から技能実習制度に介護職が追加されたことを契機に準備を始め、二〇一八年八月に法人としての登記が完了して、運営を開始しました。この事業はまだ始まったばかりですが、二〇一九年四月に入管法が改正されることもあり、今後大きく発展していく可能性を感じています。当社の介護施設等で勤務するインドネシアの青年たちを育成することはもちろん、人材不足に悩む多くの日本企業の為、環境に恵まれていないインドネシアの若者に成功するチャンスを作る為、多くの目的・期待を持ってスタートしました。今後、ウチヤマグループの新たな柱として成長させていきたいと思っています。

また、社会貢献活動の一環として、二〇一八年六月に「ウ

チヤマ子ども食堂」をスタートしました。当初は場所を確保するのにも色々と苦労がありました。が、本社の小橋秘書が中心となって地域の方々に理解と協力を求め、北九州市からも支援していただき、現在は本社近くの二か所の市民センターで、それぞれ隔週一回開催しています。十二月は初のクリスマスイベントということで、多くの子供たちが集まってくれて笑顔が見られ、保護者の方々からもたいへん喜ばれています。当社の職員だけでなく、地元の北九州市立大学、九州栄養福祉大学などからも学生がボランティアとして参加し、取引先企業からは、食材の寄付や資金提供などご協力をいただいています。当社が中心となって様々な方に関わっていただきながら、地域の子どもたちの為に一体となって食堂運営を行うことで、社会貢献の理想的な形が実現できていることを嬉しく思っています。

子ども食堂に限らず、私たちの仕事はすべて世の中の役に立つ仕事であり、社会貢献につながっています。社会貢献という大きな目標、目指すべきビジョンがあるからこそ、皆が心を一つにして頑張っていけるようになるのです。

二〇一九年五月には約三十年続いた平成の時代が終わりに、新たな元号に変わることになりました。この三十年の間に、日本経済は不動産バブルの絶頂からバブルの崩壊、そしてその後の失われた二十年を経験しました。当社も歴史の大きなうねりの中で、調子が良い時も悪い時もありましたが、お客様や取引先の方々から温かいご支援を頂きながら、社員の皆さんが一致団結して頑張ってくれたおかげで、東証一部上場という大きな目標を果たすことができました。これから多くのごことに挑戦し続け、笑顔で楽しく仕事に取り組みながら、全社員一丸となって目標を必達するとともに、より一層社会貢献できる企業を目指していきましょ。



- 1 ドラッカー全教養
～自分の頭で考える技術～(ウィリアム・A・コーエン)
- 2 中村天風に学ぶ成功哲学
～人生は心一つの置きどころ～(渡部 昇一)
- 3 ほくたちは習慣で、できている。
(佐々木 典士)
- 4 ディズニーの魔法のおそうじ
(安孫子 薫)
- 5 仕事。
(川村 元気)

- 6 影響力～あなたがブランドになる日～
(松永 茂久)
- 7 「あなたに会うと元気になる」といわれる人
(齋藤 茂太)
- 8 だいじょうぶだよ～ほくのおばあちゃん～
(長谷川 和夫 さく/池田 げんえい え)
- 9 ゆきうさぎのねがいごと
(レベッカ・ハリ エ/木原 悦子 やく)
- 10 マッチウリの少女
(アンデルセン原作/いもと ようこ 文絵)



コロッセ倶楽部 大分勢家店オープン!

12月4日、大分県大分市にカラオケ部門の新店舗「コロッセ倶楽部・大分勢家店」がオープンしました。コロッセ倶楽部としては大分県内で9番目、大分市内では6番目の店舗となります。ドン・キホーテを核とする複合商業施設「D-Plaza大分市」の2階で、店内には喫煙ブースも設けてあり、オープン当日から学生や家族連れなど多くのお客様で賑わっています。

カラオケコロッセクラブ

[大分勢家店]
〒870-0131
大分県大分市大字勢家1137-2F
TEL.097-573-7707

全23BOX 営業時間 10:00～翌朝5:00 年中無休



● 竹下店長のごあいさつ

本社の方々をはじめ、二村専務、大野SV、従業員の皆さんにご協力頂き、オープンすることができました。勢家店が盛り上がり、大分で一番店になるよう、微力ながら日々努力します!入社して半年、まだまだ分からないこともありますが、ご指導宜しくお願いいたします。(竹下 清太郎(せいたろう))



竹下店長



スイス視察旅行!

11月27日から12月2日まで、(株)エクシングが主催するスイスの視察旅行に、内山社長と一緒に参加しました。

スイスは、ヨーロッパの中でも中央ヨーロッパに位置し、ドイツやフランス、イタリア、オーストリアなどに囲まれた内陸国で、面積は九州とほぼ同じです。スイス国内には12の世界遺産があり、そのうち今回は「ラヴォーのブドウ段々畑」と「ベルン旧市街」を訪れました。

最初に観光したジュネーブでは、美しい自然と中世の街並みが印象的でした。特に有名な建造物として「サン・ピエール大聖堂」と呼ばれる教会があり、中には総工費3億円の巨大なパイプオルガンがありました。3日目にはツェルマットの街からアルプス山脈を眺め、標高3000メートルの展望台に登ると、雪で覆われた銀世界の中で目の前にマッターホルンが見えました。交通手段は電気自動車や馬車も走っており、環境保全にとっても配慮がされていました。ベルン市内ではアインシュタインが住んでいた自宅も見学しました。

旅行中の食事は、スイスならではのチーズを使った料理をはじめ、高カロリーでスイスワインに合う料理が多かったです。特にラヴォー地区では、温かい太陽の光と地面の地熱、そしてレマン湖に反射した太陽の光が影響して品質のよいブドウができることで、美味しいワインをたくさんいただきました。

今回の旅行を企画して下さったエクシングの安井部長、植野様には大変お世話になりました。ありがとうございました。(ポナー本社・中島宏)



ご出産 おめでとうございます



へいまだいと **平間 大尊くん**

2018年10月29日生まれ 男の子

3112gで元気に産まれてきてくれました。思いやりのある心の広い子に育って欲しいと願っています。一人前のパパになっていけるように努力してまいります。

★だいとくんのパパ
コロッセ倶楽部 博多駅前・店長 **平間 敦**



貴景勝が来た!!

2018年の大相撲九州場所で優勝した貴景勝関が、北九州市のアサノパティオに来店しました。12月13日に行われた内山さわやか会の有志によるゴルフ会「大元気会」の懇親会と内山さわやか会・役員会の望年会を兼ねた食事会の中で、(株)元気水産の末松八起社長のご紹介により、忙しい地方巡業の合間を縫って来ていただきました。参加された方々は、サプライズゲストの登場にとっても驚いていましたが、その後は記念撮影など楽しんで交流を行いました。

さわやか相談室

あなたのお悩み話してみませんか?



ひとりで悩まないで! お気軽にどんなことでもご相談ください。お電話、メールお待ちしております!

電話番号 **090-9497-5764**
メール sawayakasoudan@docomo.ne.jp